

プログラムは、特別講演2題、一般講演24題、クリティカルパス展示18題で構成されております。

特別講演1は厚生労働省大臣官房厚生科学課主任科学技術調整官の眞鍋馨先生をお迎えして、「わが国における医療制度について」と題して、厚生労働省の医療制度に対する取り組みについて、わかり易くご講演を頂きました。

特別講演2は湯布院厚生年金病院院長 森照明先生をお迎えして、「病院改革と医療安全」と題して、森先生が前、現職の2病院の院長として、自ら先頭に立ち、医療安全を中心とした病院改革の実体験について、大変有意義なご講演を頂きました。

一般講演は、「医療安全」「院内感染・チーム医療・患者サービス」「クリティカルパス」「地域連携・在院日数」について発表され、活発な討論や情報交換がなされました。

ご参加頂いた皆様のご協力とご支援により、今回の学術集会を無事に終えることができ、心より感謝を申し上げ、開催報告とさせていただきます。

(文責:日本赤十字社長崎原爆病院第一外科部長 谷口英樹)

第9回福井県支部学術集会

当番世話人：国立病院機構福井病院院長 千葉幸夫



会場風景

2010年3月6日(土)、敦賀市民文化センターにおいて第9回福井県支部学術集会が開催されました。シンポジウムは医療職種全般に身近で興味のある「がん対策基本法で期待される緩和医療—地域連携のマネジメント—」をテーマといたしました。病院医師、かかりつけ医、病院看護師、訪問看護ステーション看護師、調剤薬局薬剤師、MSWの6人のシンポジストから、各部門の取組の発表があり、地域連携に向けた態勢づくりなど総合討論をしていただきました。今後の課題が明確になったと思います。そのあと、シンポジウムに関連して、仏教看護・ビハーラ学会会長の藤腹明子先生に、「スピリチュアルケアと生死観」という題名で特別講演をしていただきました。非常に難しいテーマですが、分かりやすくお話ししていただき、死を目前にした患者さんとの関わりに大変参考となりました。一般演題は、医療安全、根本原因分析、電子カルテ、地域連携クリティカルパスや、がん化学療法など医療マネジメントに関する諸問題から12演題の発表が続き、参加者からも多くの質問がありました。参加者は約170人と盛会のうちに終了いたしました。

最後になりますが、今回の支部学術集会開催にあたり、ご協力いただきました皆様に心からお礼申し上げます。

第9回神奈川支部学術集会

当番世話人：医療法人社団さがみ野中央病院院長 野登 隆



会場風景

「さらなる医療の質、安全、効率性を求めて」を主題に第9回神奈川支部学術集会を、2010年3月6日(土)、神奈川県海老名市の文化会館で開催しました。

特別講演は東海大学病院院長の猪口貞樹教授に「医療の効率性」についてご講演頂き、教育講演は聖マリアンナ医科大学統括看護部長 陣田泰子先生に「看護現場学」というテーマで講演頂きました。

パネルディスカッションとして「チームで取り組むがんの地域連携」を中核病院の医師・看護師・薬剤師の3職種と在宅医の4者でディスカッションしました。

当日の学術集会には口演・ポスター展示合わせて49題の一般演題の応募を頂き、あいにくの天候にもかかわらず325名の学会参加を頂きました。

また、同時に開催した市民公開講座「気になるおしっこの話」には220名の市民の参加を得て、学術集会と併せて盛会に終了いたしました。

第9回香川支部学術集会

当番世話人：さぬき市民病院地域医療部長 井上利彦



会場風景

2010年3月6日(土)、高松市アルファあなぶきホールにて第9回香川支部学術集会が開催されました。当日は雨にもかかわらず、関係者を含めて130名と多くの参加があり、盛況な学術集会となりました。

今回は、医療安全へのストラテジー～実践知の共有～というメインテーマに一般演題29題の応募があり、活発な討論が行われました。この中から優秀演題5題を選出して、表彰させていただきました。特別講演では、自治医大 河野龍太郎先生が、「ヒューマンファクター工学に基づくエラーメカニズムと低減への基礎的考え方」と題して、医療安全に関する基礎知識、分析手法、医療システムの問題点と対策などについて、わかりやすくお話ししていただきました。ランチンセミナーでは、小松市民病院吉本幸子先生に「石川県南加賀医療圏における糖尿病地域連携クリティカルパスについて」と題して先進地区での地域連携クリティカルパスをご講演していただきました。

本学術集会に多数のご参加いただき、活発な意見交換をいただきました皆様に厚く御礼申し上げます。